

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）実績報告

都道府県	佐賀県	市町村名	嬉野市	自治体コード	41209
------	-----	------	-----	--------	-------

交付決定額 (B)	既交付額 (※)	精算払請求額 (C)	翌年度繰越額 (D)	不用額 (E=B-※-C-D)
55,175,000		55,175,000	0	0

(単位：円)

No	交付対象事業 の名称	交付対象事業費 (A)	交付決定額 (B)	精算払請求額 (C)	翌年度繰越額 (D)	不用額 (E=B-C-D)	事業 開始 年月	事業 完了 年月	備考
1	「I♥URESHINO」新たな交流拠点の誕生を契機に取り組む未来技術を活かした観光まちづくり事業	99,990,000	49,995,000	49,995,000	0	0	R6.4.1	R7.3.31	
2	スポーツフューチャーセンターによる女性が輝くまちづくり推進事業～HAPPY TOGETHER PROJECT～	10,000,000	5,000,000	5,000,000	0	0	R6.4.1	R7.3.31	
3	まちの変化を力にした地域内外の交流拡大・地域の賑わい創出プロジェクト	360,000	180,000	180,000	0	0	R6.4.1	R7.3.31	
4									
5									
合 計			55,175,000	55,175,000	0	0			

注) 1. デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)＜以下「推進タイプ」という。＞において、採択された事業の全てを記載すること。(前年度からの繰越事業の該当があれば、備考欄に「R〇年度採択繰越分」と記載すること。なお、同事業について当該年度も採択されている場合は、行を分けて記載すること。)

2. 「交付対象事業の名称」欄、「事業開始年月」欄及び「事業完了年月」欄には、各々の推進タイプ、若しくは地方創生推進交付金の実施計画から、交付対象事業の名称、事業開始時期及び事業終了時期を転記すること。

3. C欄について、B欄の金額以内とすること。

4. 備考欄について、消費税等仕入控除税額が明らかになり、B欄から減額している場合は、備考欄にその旨及び金額を記載すること。

5. D欄について、当該年度から翌年度に繰越する金額(財務省・財務局の承認が得られたもの)を記載すること。

6. 備考欄について、各事業毎に不用額が100万円を超える場合は、その理由を記載すること。